

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公開番号】特開 2002-252669 (P2002-252669A)  
 【公開日】平成 14 年 9 月 6 日 (2002.9.6)  
 【出願番号】特願 2001-381773 (P2001-381773)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 L 29/08 (2006.01)**

【 F I 】

H 0 4 L 13/00 3 0 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 22 日 (2006.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】セントラル端末装置またはリモート端末装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 全二重手順による x D S L 通信を行うセントラル端末装置であって、リモート端末装置が前記セントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションの終了に際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置。

【請求項 2】 全二重手順による x D S L 通信を行うリモート端末装置であって、前記リモート端末装置がセントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置。

【請求項 3】 全二重手順による x D S L 通信を行うセントラル端末装置であって、前記セントラル端末装置がリモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置。

【請求項 4】 全二重手順による x D S L 通信を行うリモート端末装置であって、セントラル端末装置が前記リモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 2 5 】

## 【課題を解決するための手段】

本願発明は、第一に、全二重手順による x D S L 通信を行うセントラル端末装置であって、リモート端末装置が前記セントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションの終了に際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置である。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 2 6 】

本願発明は、第二に、全二重手順による x D S L 通信を行うリモート端末装置であって、前記リモート端末装置がセントラル端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置である。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

本願発明は、第三に、全二重手順による x D S L 通信を行うセントラル端末装置であって、前記セントラル端末装置がリモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするセントラル端末装置である。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 2 8 】

本願発明は、第四に、全二重手順による x D S L 通信を行うリモート端末装置であって、セントラル端末装置が前記リモート端末装置に対し信号を送出することによって開始されたセッションを終了させるに際し、モードセレクトメッセージを受信すると、A C K メッセージを送信し、その後 G A L F を受信するか無音期間を検出すると、データ送信を停止することを特徴とするリモート端末装置である。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 1  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 0】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 2  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 3  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 4  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 5  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 6  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 7  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 8  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 9  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 1 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 0  
【補正方法】削除

【補正の内容】  
【手続補正 19】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0041  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 20】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0042  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 21】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0043  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 22】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0044  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 23】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0045  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 24】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0046  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 25】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0047  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 26】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0048  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 27】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0049  
【補正方法】削除  
【補正の内容】